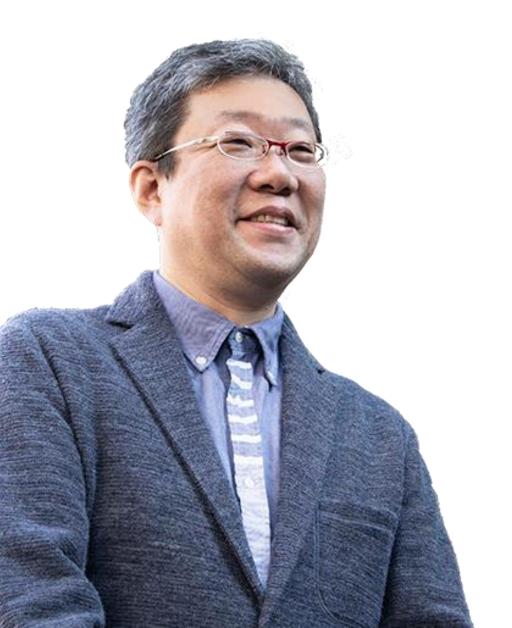
トレンド発表会 2025









LIFULL HOME'S総研 副所長 兼 チーフアナリスト

としあき

中山登志朗

<略歴>

2014年9月にLIFULL HOME'S総研副所長に就任。

出版社を経て、1998年から不動産調査会社にて不動産マーケット分析、知見提供業務を担当。不動産市況分析の専門家として、TV・新聞・雑誌・Webメディアへコメント提供、寄稿、出演を行うほか、年間多数の不動産市況セミナーで講演。国土交通省、経済産業省、東京都などの審議会委員などを歴任。(一社)安心ストック住宅推進協会理事。

LIFULL HOME'S

2025年トレンド発表会

- ① デコ活
- 2 ローカル億ション
- 3 ずらし駅
- 4 住まいの防犯投資
- 5 家じまい元年



LIFULL HOME'S 2025年トレンド発表会

デコ活





デコ活とは



二酸化炭素(CO2)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と、環境に良いエコ(Eco)を含む"デコ"と活動・生活を組み合わせた新しい言葉。環境省は、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動「デコ活」を展開。



出典:環境省「デコ活」

2050年までに「カーボン・ニュートラル」実現



日本政府が掲げる2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル」実現に向け、 エネルギー消費量の約3割を占める住宅・建築物分野で省エネを加速。

エネルギー消費の約3割を占める 建築物分野での省エネ対策を加速

<エネルギー消費の割合>(2019年度)

建築物分野:約3割

業務・家庭

運輸

産業

30% / 23

6 46

木材需要の約4割を占める 建築物分野での木材利用を促進

<木材需要の割合>(2020年度)

建築物分野:約4割

製材用材 合板用材

パルブ・チップ その代

33%

12%

35%

2% 17%

<2050年カーボンニュートラルに向けた取組>



抜本的な取組の強化が 必要不可欠

新築について、ZEH・ZEB水準の 省エネ性能の確保を目指す

ストック平均で、ZEH・ZEB (ネットゼロ・エネルギー・ハウス/ビル) 水準の省エネ性能の確保を目指す

2030年 · · · · ·

2050年 · · · · ·

出典:国土交通省「今和4年度改正建築物省エネ法の概要」

2025年4月から全ての新築住宅が省エネ基準に



全ての新築住宅・新築非住宅に省エネ基準の適合を義務付けられる「建築物省エネ法」が2025年4月から開始。

現行 非住宅 住宅 適合義務 届出義務 2017.4~ 適合義務 届出義務 2021.4~ 説明義務 説明義務

改正 非住宅 住宅 適合義務 適合義務 2017.4~ 適合義務 適合義務 .202<u>1.4</u>~ 適合義務 適合義務

小規模

大規模

2,000m²以上

中規模

300m²以上

出典:国土交通省「今和4年度改正建築物省エネ法の概要」

2024年4月から住宅は「コスパ」で選ぶ時代



建築物省エネ法開始に先駆け、2024年4月から「建築物省エネ性能表示制度」が開始。 消費者は「省エネラベル」「省エネ部位ラベル」で断熱性能・目安光熱費などが容易に把握できるため、 価格などのイニシャルコストに加え、光熱費などのランニングコストも住まい選びの判断材料に。

2024年4月 (小規模な省エネ改修) 販売(買取再販を含む)・賃貸 部位ラベルの対象 建築確認(→竣工) または 省エネ性能の向上に関わる 省エネ部位ラベルを表示 設備・建材がある場合 性能ラベルの対象 (大規模な省エネ改修) 販売(買取再販を含む)・賃貸 2024年3月以前に 建築確認申請を 行った住宅 住宅全体の省エネ性能を 省エネ性能ラベルを表示 把握している場合 建築確認(→竣工) 再販売(買取再販を含む)・再賃貸 性能ラベルの対象 2024年4月以降に 建築確認申請を 行った住宅 省エネ性能ラベルを表示 省エネ性能ラベルを表示

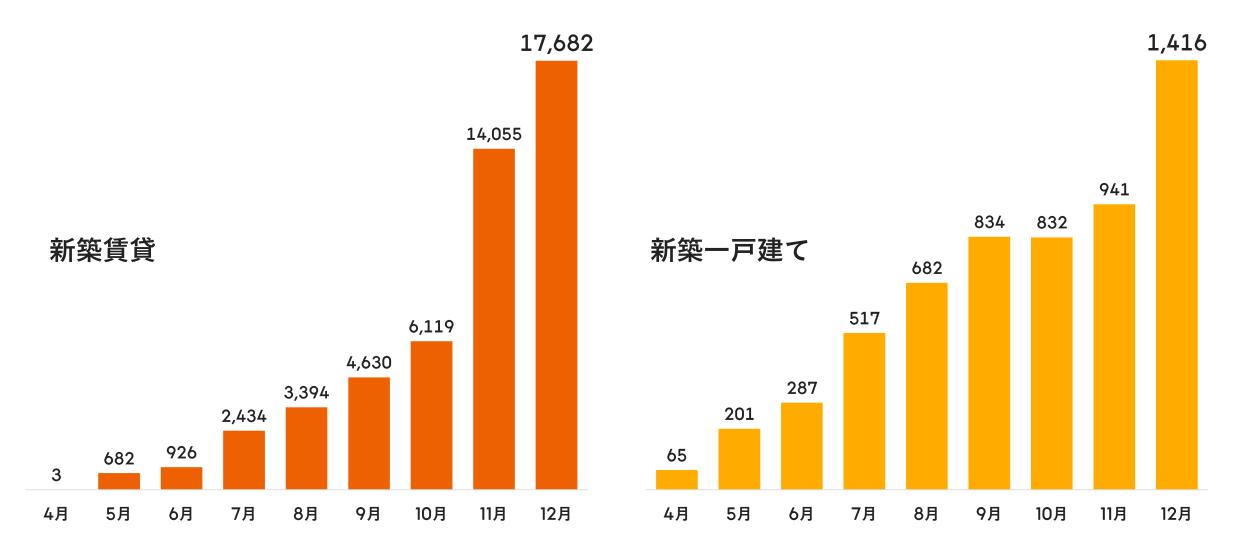
LIFULL HOME'S掲載例



出典:国土交通省「建築物省エネ法に基づく省エネ性能表示制度事業者向け概要資料」

「省エネ性能ラベル」掲載物件は増加中



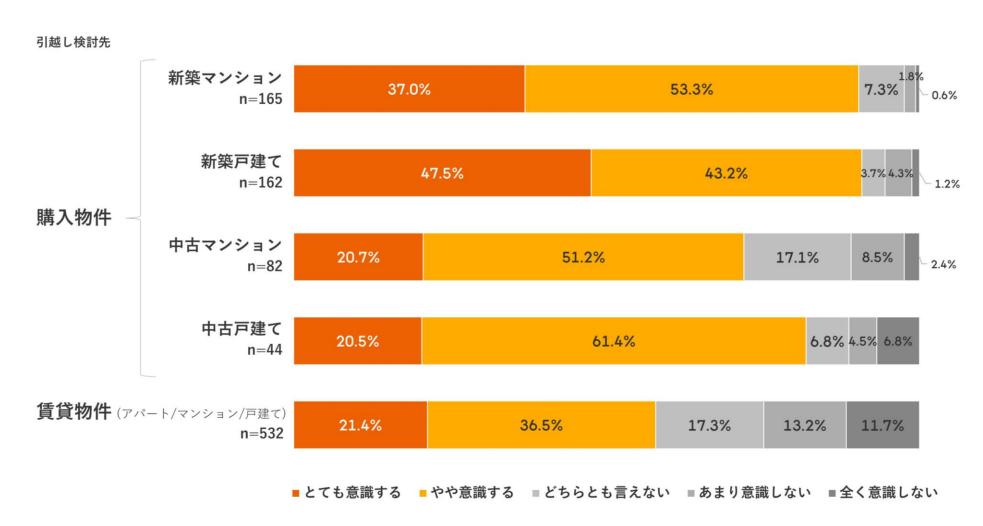


出典:LIFULL HOME'S

物件の省エネ性能を意識している人は多い



引越し先を探す際、物件の省エネ性能(断熱性能、エネルギー消費性能など)を意識しますか



回答:985人(3年以内に購入/賃貸物件に引越し予定のある方) ※一都三県在住の20~49歳の男女 ※単一回答

出典:LIFULL HOME'S「物件の省エネ性能に関する意識調査」

住宅の省エネ化を推進する国の動き



国土交通省、経済産業省、環境省が住宅の省エネ化を促す「住宅省エネキャンペーン」は2025年も今年と同規模で継続



- 先進的窓リノベ事業
- 給湯省エネ事業
- こどもエコすまい支援事業、子育てエコホーム支援事業、子育てグリーン住宅支援事業
- 賃貸集合給湯省エネ事業

省エネ住宅の新築、住宅の省エネリフォームを支援する 「子育てグリーン住宅支援事業」を創設 (1,850億円)

- ✓ ZEH基準の水準を大きく上回る性能の省エネ住宅
 「GX (グリーントランスフォーメーション) 志向型住宅 | 新築を支援
- √ 既存住宅は、熱損失が大きい窓の断熱改修工事を支援

対象世帯		補助額	
すべての 世帯	GX志向型住宅 ^{※4}		160万円/戸
子育て 世帯等 ^{※1}	長期優良住宅 ※4,5,6,7	建替前住宅等の除却を行う場合※8	100万円/戸
		上記以外の場合	80万円/戸
	ZEH水準住宅 ※4,6,7	建替前住宅等の除却を行う場合※8	60万円/戸
		上記以外の場合	40万円/戸

GX志向型住宅の要件

- 〇下記の①、②及び③にすべて適合するもの
 - ①断熱等性能等級「6以上」
 - ②再生可能エネルギーを除いた一次エネルギー消費量の削減率「35%以上」
 - ③再生可能エネルギーを含む一次エネルギー消費量の削減率「100%以上」※9,10,11

出典:国土交通省「住宅の省エネ化の支援強化に関する予算案を閣議決定」

住まいのデコ活【給湯器】



給湯器は家庭のエネルギー消費量の約3割を占める最大の消費源で、 高効率化はコスト対策としても有効。

また、高効率給湯器を購入する場合、一定額の補助を受けることも。

	ヒートポンプ給湯機 (エコキュート)	ハイブリッド給湯機	家庭用燃料電池 (エネファーム)		
エネルギー源	電気	電気・ガス	ガス		
特徴	圧縮すると温度上昇し膨張すると 温度が下がる、 気体の性質を利 用して熱を移動させるヒートポン プの原理を用いてお湯を沸かし、 タンクに蓄えるもの。	ヒートポンプ給湯器とガス給湯器を 組み合わせてお湯を作り、タンクに 蓄えるもの。二つの熱源を用いること で、より高効率な給湯が可能。	都市ガスやLPガス等から作った <u>水</u> 素と空気中の酸素の化学反応に より発電するとともに、発電の際の 排熱を利用してお湯を沸かし、タン クに蓄えるもの。		
価格 (機器+工事費)	55万円程度	65万円程度	130万円程度		
主な補助額	10万円/台 ※昼間の余剰再エネ電気を活用できる機器	13万円/台 ※昼間の余剰再エネ電気を活用できる機器	20万円/台 ※レジリエンス機能を強化した機器		
商品イメージ	出所)三菱電機	出所)リンナイ	出所)アイシン		
	蓄熱暖房機*、電気温水器を撤去する場合				
追加措置	+8万円(蓄熱暖房機) +4万円(電気温水器) *:蓄熱レンガを電気で温め、放熱することで部屋を暖める器具。				

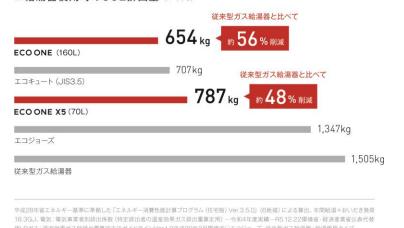
出典:経済産業省「高効率給湯器導入促進による家庭部門の省エネルギー推進事業費補助金の概要

リンナイ ハイブリッド給湯器「ECO ONE」

CO2と光熱費を削減。ガスと電気の両方を使えるため、万が一の被災時にも活躍する。



■ 給湯器使用時のCO2排出量(1年間)



出典:リンナイ

住まいのデコ活【窓】



高い断熱性能を持つ窓に改修する場合、費用の1/2相当等(上限200万円) を定額補助(リフォーム事業者が申請し、住宅所有者等に全額還元)

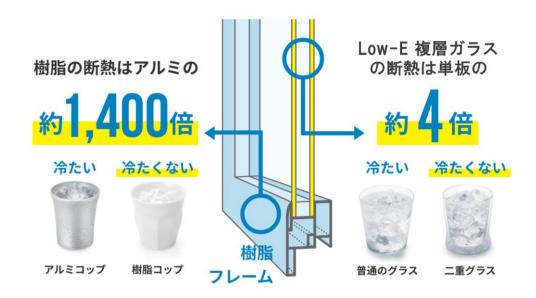


補助額の例(詳細は2ページ目参照)							
例:戸建住宅・低層集合住宅							
	.Hi le	大きさの区分					
	グレード	大 (2.8 ㎡~)	中 (1.6 ~2.8㎡)	小(0.2~1,6㎡)			
	SS	106,000	72,000	46,000			
内窓設置	S	65,000	44,000	28,000			
	Α	26,000	18,000	12,000			
外窓交換 (カバー工法)	SS	220,000	163,000	109,000			
	S	149,000	110,000	74,000			
	Α	117,000	87,000	58,000			

出典:環境省「断熱窓への改修促進等による住宅の省エネ・省CO2加速化支援事業の概要」

YKK AP「樹脂窓」

樹脂フレームと複層ガラスによって断熱。 ダニ・カビの発生、騒音・音漏れを防ぐ効果も。



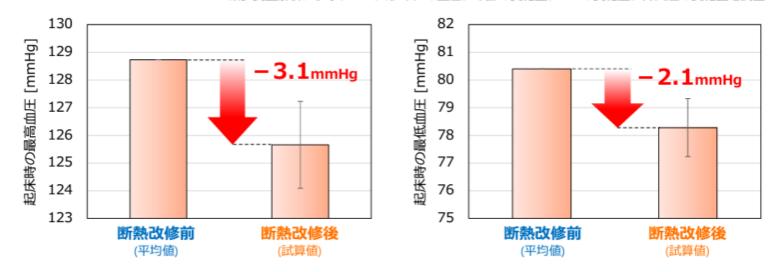
出典:YKK APウェブサイト

断熱性能の向上は「ヒートショック」のリスク軽減にも



血圧	断熱改修による家庭血圧の変化量 (95%信頼区間)				
ш/±	単変量モデル	P値	多変量モデル※	P値	
朝の最高血圧, mmHg	-2.6 (-4.3 to -1.0)	0.001	-3.1 (-4.6 to -1.5)	<0.001	
夜の最高血圧, mmHg	-1.5 (-3.2 to 0.1)	0.069	-1.8 (-3.4 to -0.2)	0.029	
朝の最低血圧, mmHg	-1.8 (-2.9 to -0.7)	0.001	-2.1 (-3.2 to -1.1)	<0.001	
夜の最低血圧, mmHg	-1.3 (-2.4 to -0.1)	0.028	-1.5 (-2.6 to -0.4)	0.006	

※多変量解析により、ベースラインの血圧、年齢の変化量、BMIの変化量、外気温の変化量を調整



▶ 断熱改修により、朝の最高血圧・最低血圧が有意に低下

LIFULL HOME'S 2025年トレンド発表会

ローカル億ション





東京23区 新築マンション平均価格は「1億円超え」が当たり前に

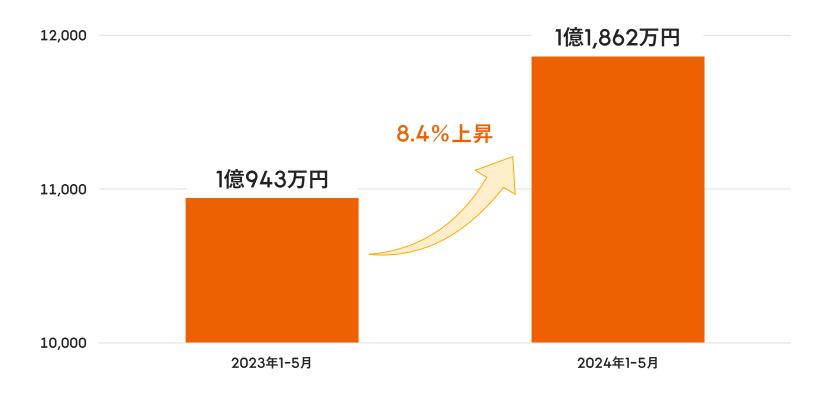


2024年1月~5月にLIFULL HOME'Sに掲載された東京23区の新築マンション平均価格は1億1,862万円。

前年同期間の平均価格 1億943万円と比較すると、8.4%上昇している。

建設業・運輸業の残業規制が開始され「2024年問題」が発生したことによる人件費の上昇に加え、

円安の継続による住宅資材価格の高騰、そして地価の安定的な上昇という「トリプル・コスト高」が価格を押し上げる。

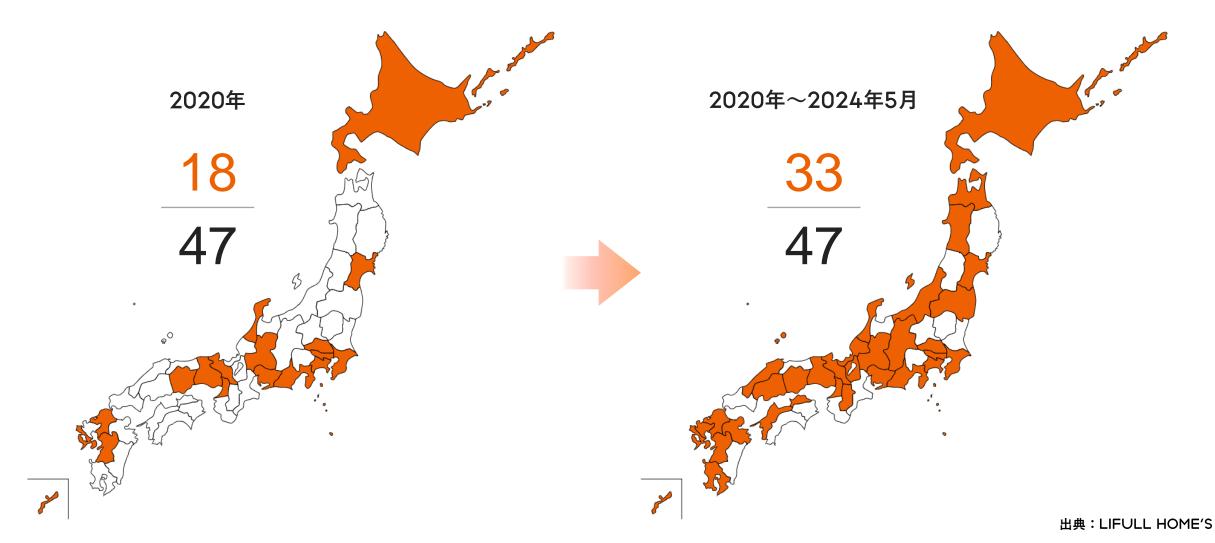


単位:万円

億ションは全国へ広がってきている



LIFULL HOME'Sに掲載された億ションのある都道府県



旭川で初のタワーマンション「プレミスト旭川ザ・タワー」

HOME'S

- √ 売主は大和ハウス工業
- ✓ 北海道 旭川市では初のタワーマンション
- √ 旭川駅から徒歩4分、総戸数151戸、地下1階~地上25階建て、高さは市内最高の90m
- √ 最上階の1室は3億5,000万円、抽選倍率は8倍となる
- √ 医師や経営者らの関心が高く、メイン顧客層は50代以上のシニア夫婦
- √ 投資・セカンド需要が約4割、居住目的が約6割







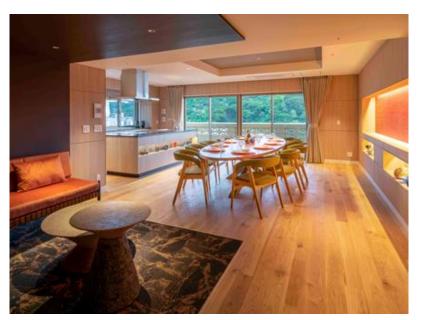
出典:大和ハウス工業

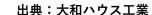
首里金城町20年ぶりの中規模分譲マンション「プレミスト首里金城町」 🙆 HOME'S

- √ 売主は大和ハウス工業
- √ 首里金城地区都市景観形成地域・首里金城町で20年ぶりの中規模分譲マンション
- ✓ 首里駅から徒歩19分、総戸数67戸
- √ 13戸が1億円超え(販売価格6,238万円~2億1,846万円、平均価格9,524万円)
- ✓ 契約者の年代は40~50代が約5割、60代以上のシニア層が約4割、 沖縄県内が約15%、首都圏が約60%、7割以上がセカンドハウス利用で購入









山陰地方で初の億ション「アルファガーデン宍道湖」

HOME'S

- √ 売主は穴吹興産
- ✓ 山陰地方では初の億ション「アルファガーデン宍道湖」
- √ 松江しんじ湖温泉駅から徒歩2分、総戸数27戸、地上8階建て
- √ 最上階の3室が1億円超え、全部屋完売







出典:穴吹興産

億ション販売が好調の要因は



高額マンションは東京都心部にほぼ集中していたが、地方圏に居住する富裕層やインバウンド需要が全国的に拡散。 地方圏の政令市や県庁所在地などを中心に億ション販売が拡大し、堅調な売れ行きを示している。

① 富裕層の増加

- √日銀の資金循環統計では、2024年セカンド・クォーターの家計が持つ金融資産残高は2,211.7兆円に達しており、前年同期比で4.6%(約102兆円)増加
- ✓ 2023年度の日本の名目GDP 596.5兆円と比較すると、3.7倍もの資産が家計に蓄積されている計算
- √ 純金融資産保有額が1億円以上5億円未満の「富裕層」、5億円以上の「超富裕層」は計148.5万世帯、超富裕層は9.0万世帯と推計
- √ 資産形成や相続で優位な高額不動産を購入するケースが多い。一時期よりもタワマン節税は"うまみ"が薄れたが、相続税評価額と市場価格の差異は比較的大きく、節税効果も高い

② パワーカップル&DINKsの増加

- √ 夫婦共に年収700万円以上とするニッセイ基礎研の定義に基づいたパワーカップルの世帯数は、2023年時点で約40万世帯と推計
- ✓ 夫婦揃って返済能力が高く、子供を持たないDINKsが低金利を活用して億ションを購入するケースが増えている
- √ いずれかが40歳未満の夫婦か子育て世帯は、住宅ローン減税の優遇措置(ローン元本の上限の引き上げ)が受けられるため、「職住近接」で資産性も期待できるタワーマンションを積極購入

③ インバウンド需要の拡大

- √ 2021年1月時点で1ドル=103.75円だった為替相場は、2024年12月には150.91円(いずれも月中平均)と45.5%もの円安を記録
- √ 海外から見ると、新築マンション価格は4割以上値下がりしていることになるため割安感が強い
- √ 安定的な資産を国外に保有したい海外マネーが日本に流入して億ション需要を支えている。実需としての活用ではなく、転売益を目的としていることが多い

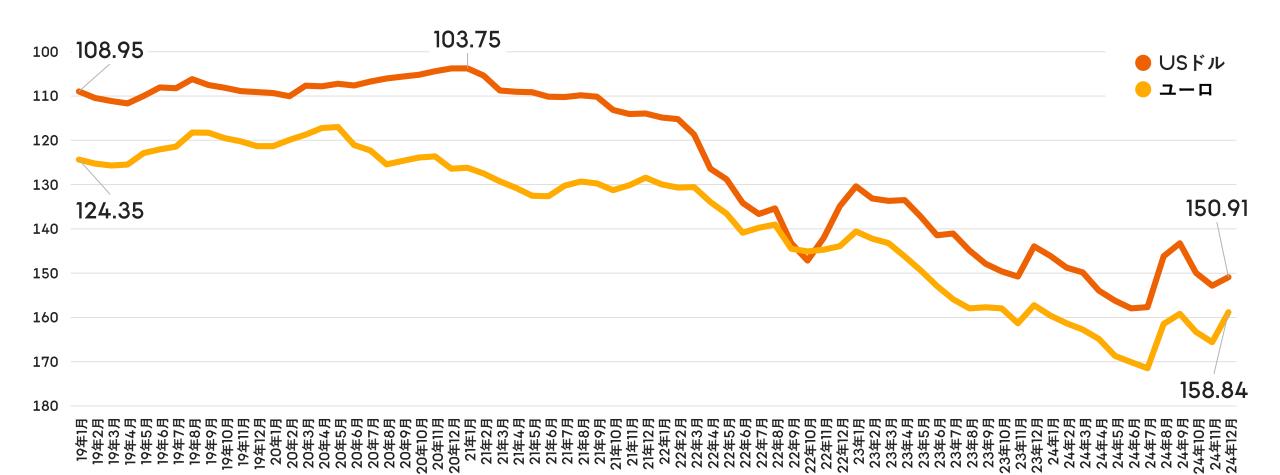
④ 株高による資産の付け替え

- √ 2020年3月に1.6万円半ばで推移していた日経平均株価は、2024年7月には4万円の大台に達し、その後も3.8万円~4.0万円の高値を維持して推移
- √ 株式の売買によって収益を得た個人投資家が、安定資産である都心・市街地中心部のタワーマンション&億ションに資産を付け替え
- √ 資産付け替え層は、竣工・引き渡しまで時間を要する新築マンションよりも、既に竣工している高額のタワーマンションを好む傾向

円安によって、日本人には高くても世界から見ると割安?



為替レートの推移(月中平均)をみると、2021年1月時点で1ドル=103.75円だった為替相場は、2024年12月には150.91円と45.5%もの円安を記録。海外から見ると、新築マンション価格は4割以上値下がりしていることになるため割安感が強い。



集計:LIFULL HOME'S総研

LIFULL HOME'S 2025年トレンド発表会

ずらし駅



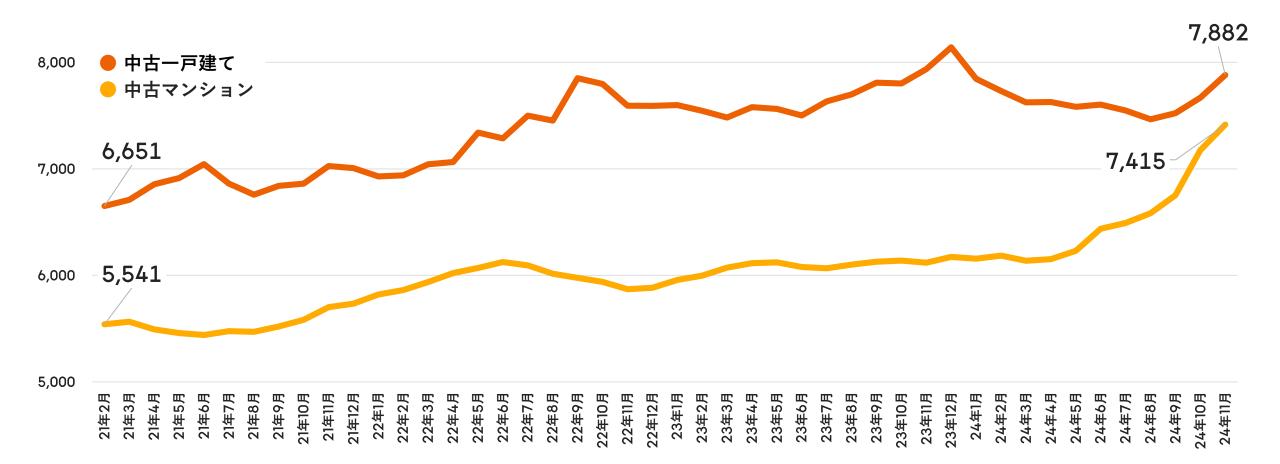


東京23区 ファミリー向き中古物件の掲載価格



新築価格の高騰により、中古価格も押し上げられている。

2021年2月の計測開始時と比較すると、中古一戸建ては18.5%、中古マンションは33.8%の上昇。また、中古マンションは、2024年10月に続き11月も7,000万円を超え、最高値となった。

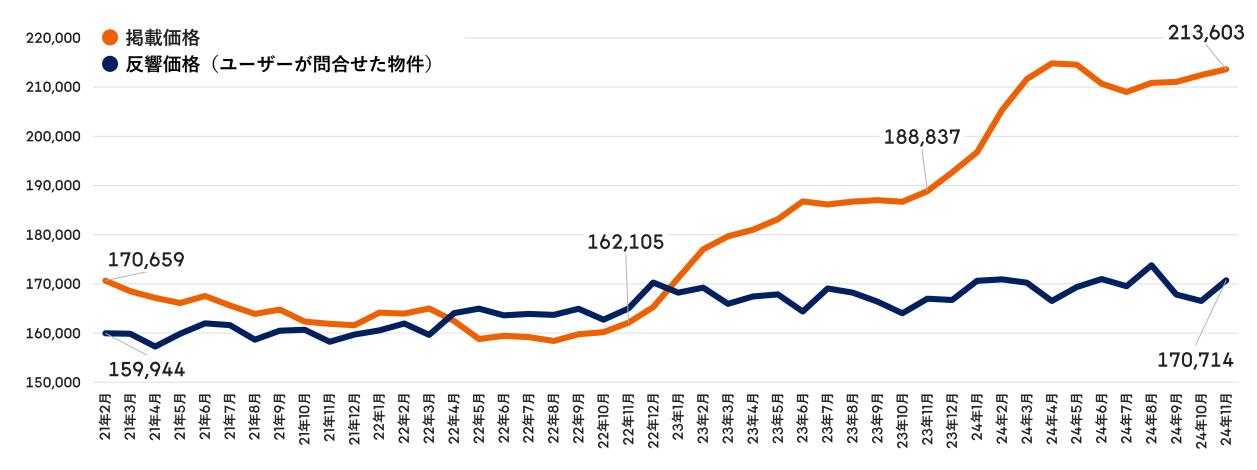


単位:万円 ファミリー向き:2DK、2LDK、3K、3DK、3LDK~

東京23区 ファミリー向き賃貸物件の掲載賃料



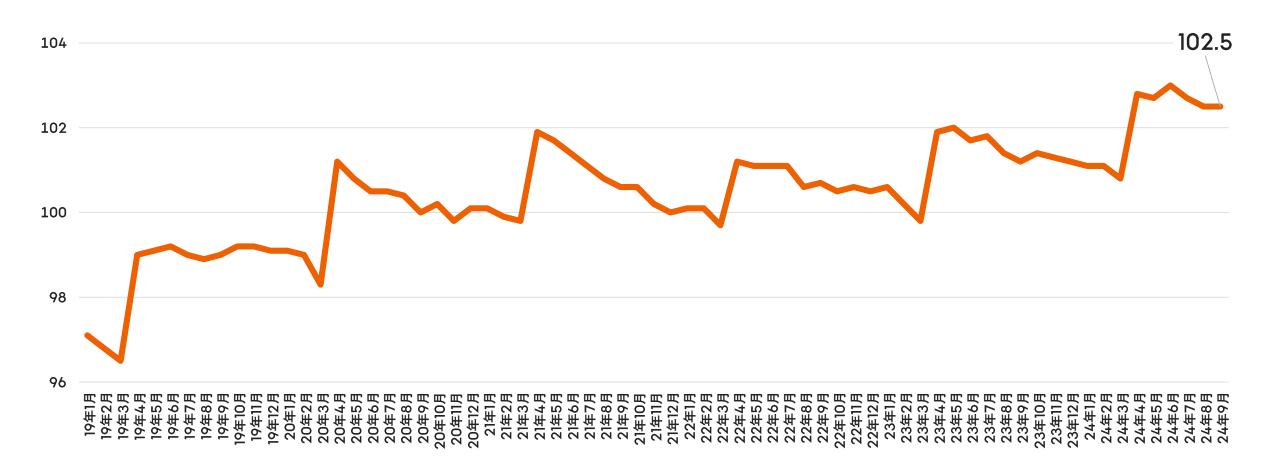
新築・中古価格の高騰により、一定の購入検討層は賃貸物件へ流れる動きがあると考えられる。 賃貸物件においても、2024年11月の掲載賃料は前年同月比113.1%、前々年同月比131.8%と上昇が続くが、 反響賃料は伸びていないことから、住居費を簡単には上げられないユーザーの状況が見られる。



実質賃金指数が伸び悩む



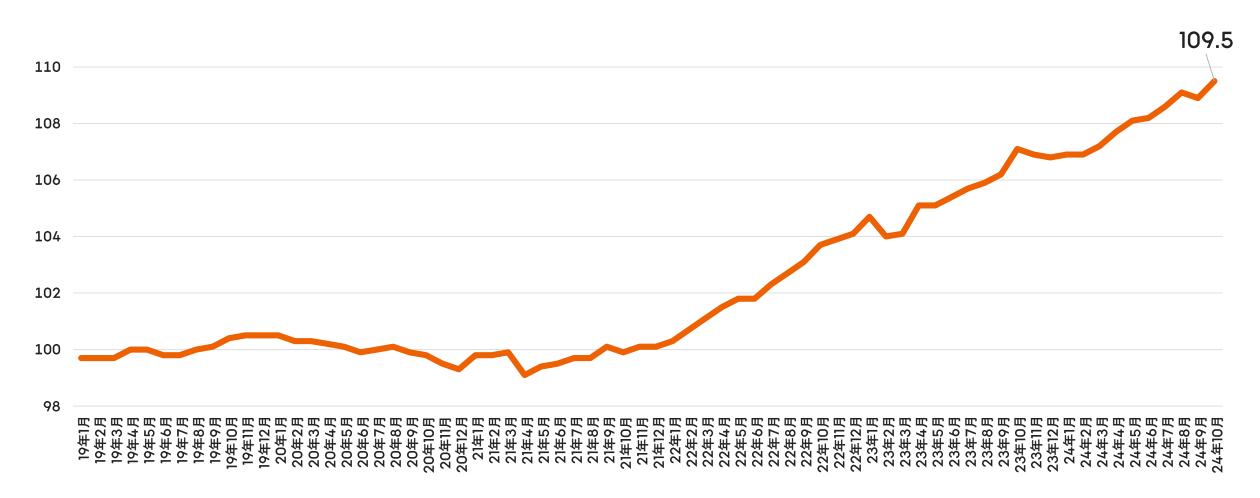
毎年4月にベア&待遇改善などが実施されても消費者物価が毎月徐々に上昇するため、実質賃金の伸びはごく僅か。 2020年平均を100とした場合、2024年9月は2.5ポイントしか賃金は伸びておらず、生活が豊かになる実感はない。



消費者物価指数(CPI)は上昇の一途

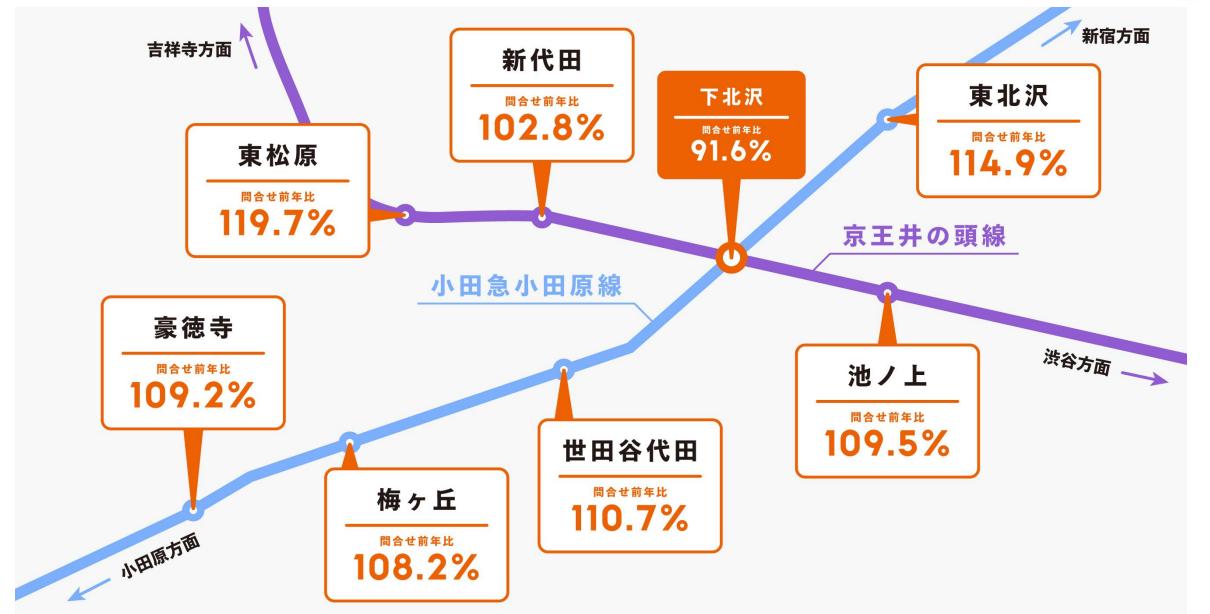


2020年平均を100とした場合、2024年9月の実質賃金は2.5ポイント上昇に対して、 2024年10月の消費者物価指数は9.5ポイント上昇。可処分所得が増えないため、住宅にかけるコストを増やすことは困難。



世田谷区「下北沢駅」周辺





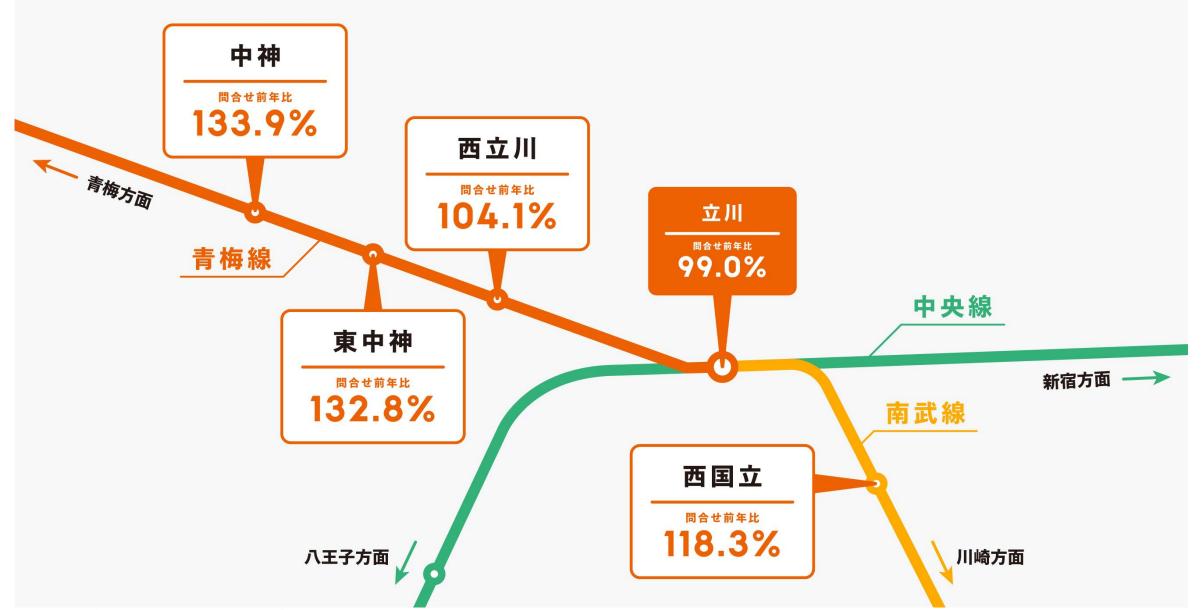
品川区「大井町駅」周辺





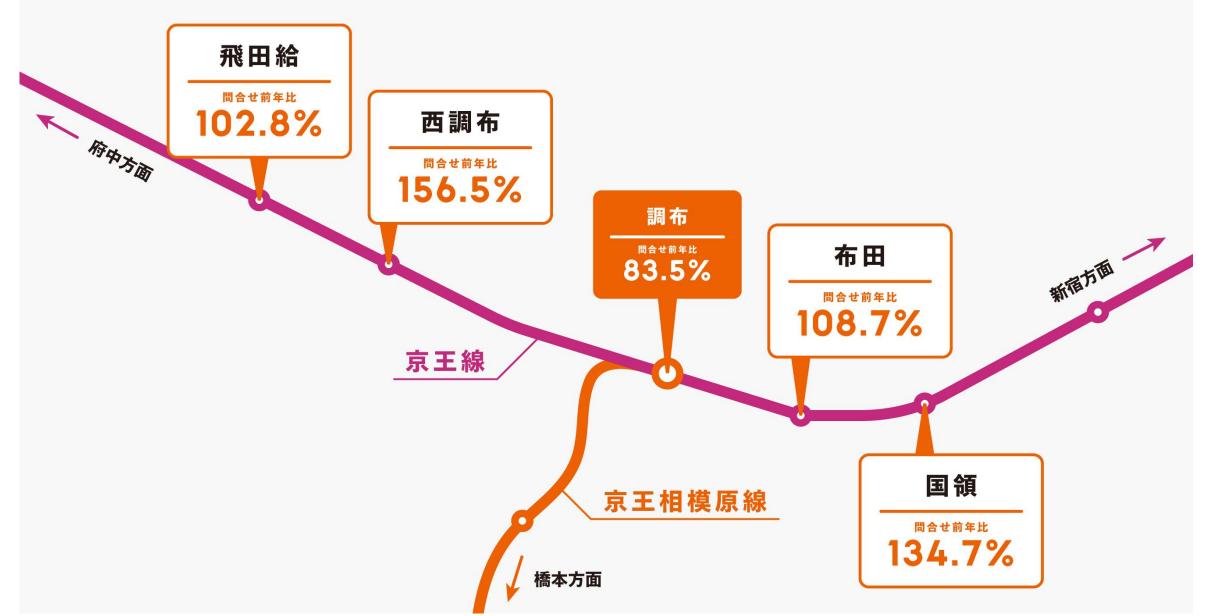
立川市「立川駅」周辺





調布市「調布駅」周辺





住まいの防犯投資





強盗・住居侵入の報道で、集合住宅へ希望を変更する声も

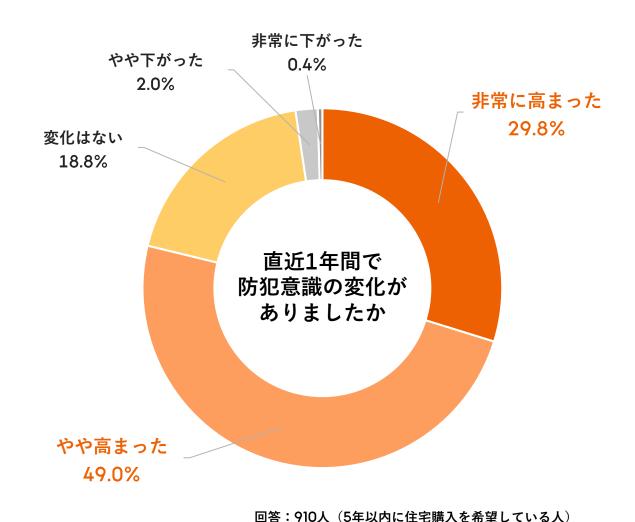


一戸建てを希望していたが

集合住宅希望へ変更した

33.4%

LIFULL HOME'Sが実施した調査では、直近1年間で住宅購入意向者の約8割が「防犯への意識が高まった」と回答。 さらに闇バイトによる強盗・住居侵入の報道で、住宅購入意向者の約3割が一戸建てから集合住宅へ希望を変更。



集合住宅も検討するようになった

一戸建てを希望していたが

住まいの形態の希望に

影響はなかった

37.3%

報道を見ていないので

わからない

2.1%

27.2% 出典: LIFULL HOME'S「住宅購入検討者の防犯意識調査」

強盗・住居侵入

などの報道を見て

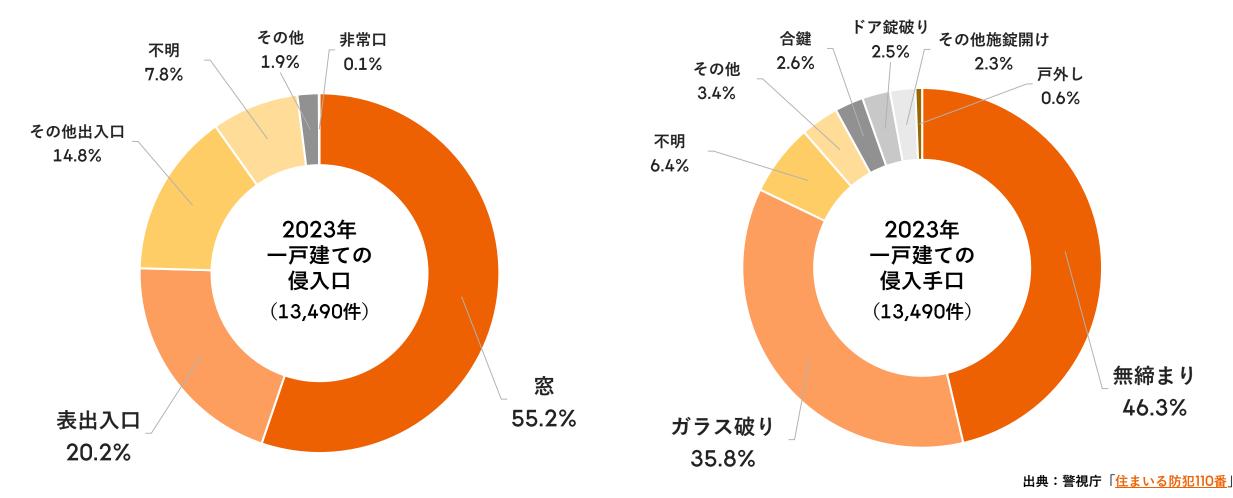
購入物件の検討に

影響がありましたか

狙われやすい「窓」と「玄関」



警視庁の発表では、2023年の戸建て侵入窃盗における侵入口で多いのは「窓」や「玄関」。 手口は「ガラス破り」や「ドア錠破り」などがあり、<u>狙われやすい場所に「防犯投資」することが大切。</u> また、5分以内に侵入できなければ約7割が断念するため、狙われても侵入されにくい工夫が必要。



住宅設備メーカーのLIXILに「防犯」に関する問合せが急増



強盗・住居侵入の報道で、LIXIL「お客さま相談センター」 に寄せられた「防犯」関連の問合せ件数は10月から急増。



2024/4 2024/5 2024/6 2024/7 2024/8 2024/9 2024/10

具体的な相談内容

玄関ドア:鍵関連

「玄関ドアの鍵を防犯性の高いものに交換できないか?」 「セキュリティーサムターン (ドアの室内側の着脱式鍵つまみ) に 交換できないか?」

窓:防犯ガラスやフィルム

「今の窓ガラスは防犯性があるか?」 「防犯性の高いガラスに取り替えたい」 「今の窓に防犯フィルムを貼付け可能か?」

窓:面格子

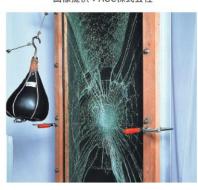
「面格子付きの窓に取り替えたい」 「今の窓に面格子は後付けできるか?」

参考:LIXILの防犯リフォーム【窓】

- ✓ 窓はリフォームで「ガラス」と「鍵」の防犯性をあげることがポイント
- ✓ 今の窓の内側にもう1枚追加する「インプラス」で、窓を2ロック
- ✓ 窓を取り換える「リプラス」で、窓を2ロック&窓を遠隔で施錠確認も可能
- √ 特殊中間膜を施した安全合わせガラスを選べば、ガラス破り対策により効果
- ✓ LIXILでは、壁を壊さず施工でき、1窓あたり約60分で工事が完了



破壊試験状況(ショットバッグ試験) 画像提供:AGC株式会社



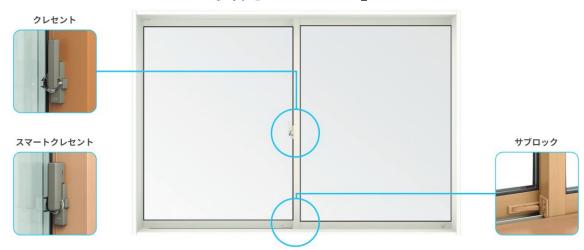
ガラスは割れますが、貫通穴はあいていません。

マンションにもおすすめ!

内窓「インプラス」



取替窓「リプラス」



出典:LIXIL「TOSTEMのリフォーム商品で「今こそ、防犯」|

参考:LIXILの防犯リフォーム【シャッター】

- √ 窓ガラスをしっかりガードできるシャッターの設置で防犯力アップ
- ✓ しっかりロックがかかるので外からのこじ開けを防げる
- ✓ 侵入しにくい印象を与えることで、防犯アピールも
- ✓ LIXILのリフォームシャッターは最短60分で工事が完了する簡単施工





※電動タイプはIoTホームリンク「Life Assist2」と連携すれば 外出先から開閉状態の確認や開閉操作が可能

出典:LIXIL「TOSTEMのリフォーム商品で「今こそ、防犯」」

- ✓ LIXILの玄関ドア「リシェント」は2ロックを標準装備、シリンダーも不正解錠しづらい構造
- ✓ スマートロックシステム「FamiLock」で締め忘れ防止、外出先から施解錠履歴を確認
- √ 鍵はスマホ・リモコン・カード・タグが選択でき、締め出し対策として暗証番号で解錠できる仕様も
- ✓ 玄関ドア「リシェント」は壁を壊さずリフォームでき、1日で工事が完了

リシェント玄関ドア3



スマートロックシステム「FamiLock」



- ※1 自身のスマホでの操作履歴を確認できます
- ※2 家族のスマホでの操作をメールで受信できます

出典:LIXIL「TOSTEMのリフォーム商品で「今こそ、防犯」|

防犯補助金の支給をする自治体も





住まいの防犯対策助成

申請期間 :2024年5月7日~2025年2月28日(2024年4月1日以降に購入された物品)

助成率/額:対象経費の2分の1を助成、助成上限額40,000円

助成対象 :防犯カメラ、録画機能付きドアホン、防犯性の高い錠防犯ガラス、面格子、防犯フィルム...など(10品目)



侵入強盗・窃盗緊急特別対策補助金

申請期間 :2024年11月18日~2025年2月28日(2024年4月1日以降に購入された物品)

助成率/額:対象経費の2分の1を助成、助成上限額30,000円

助成対象 :防犯カメラ、防犯フィルム、防犯ガラス、面格子、防犯砂利、ネットランチャー...など(18品目)



住宅などの防犯対策に対する助成制度(新設)

申請期間 : 令和6年10月30日以降に実施した住宅等の防犯対策を対象(申請開始は2025年2月予定)

助成率/額:対象経費の2分の1を助成、助成上限額15,000円(予定)

家じまい元年

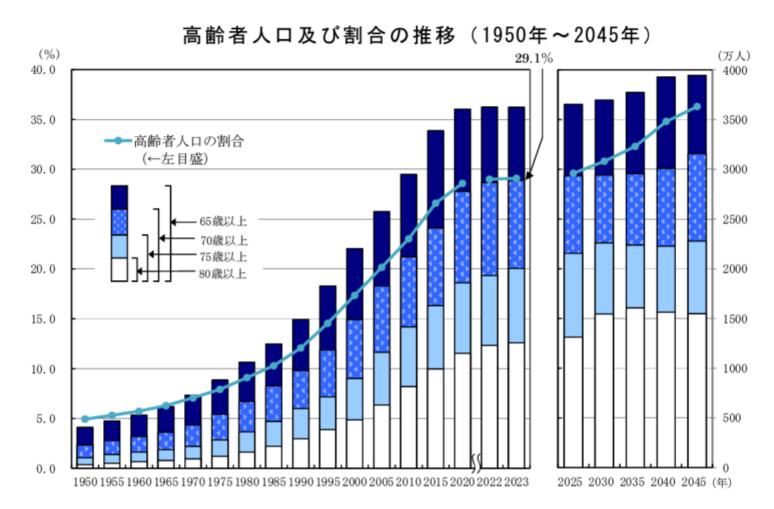




団塊世代が後期高齢者になる「2025年問題」



2025年は、団塊世代が後期高齢者(75歳以上)になり、国民の5人に1人が後期高齢者に。

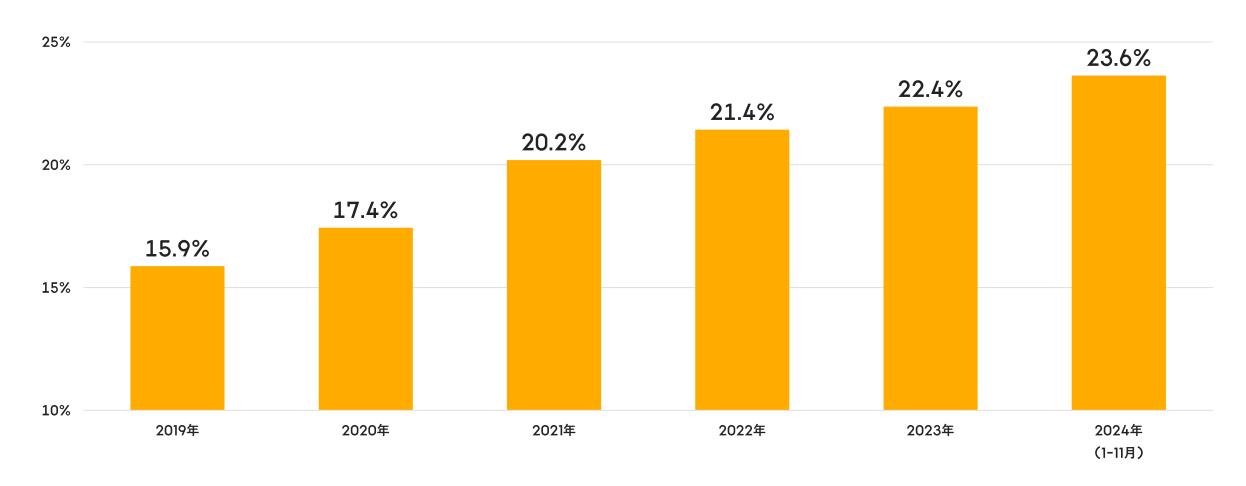


出典:総務省統計局「統計からみた我が国の高齢者」

「相続」を理由とした売却査定依頼の割合は年々増加



LIFULL HOME'Sの売却査定依頼における、相続を理由とした割合は年々増加傾向。 5年前と比較すると7.7%増加している。



出典:LIFULL HOME'S

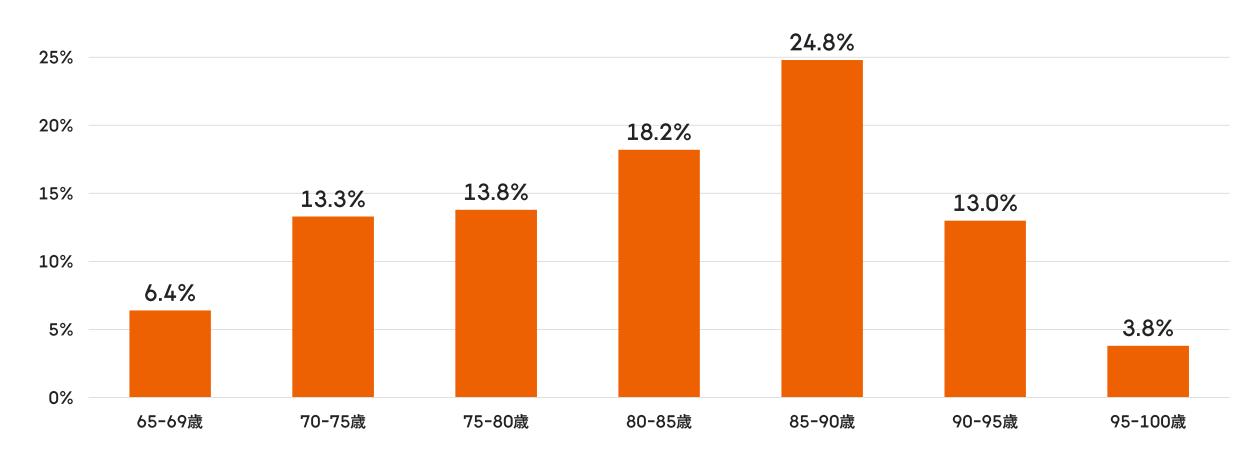
実家売却時の親の年齢は





実家を売却したときの親の年齢は、父親・母親ともに平均年齢が80歳。

70歳前後から増え始め、85歳ごろをピークに減少していく結果に。



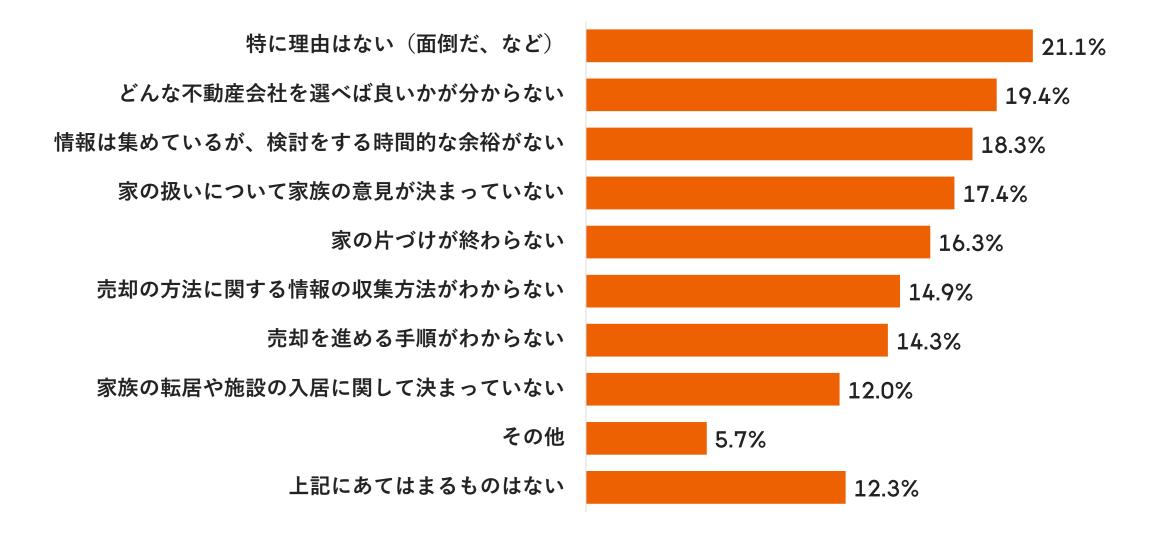
回答:381人

出典:オープンハウス×LIFULL HOME'S「家じまいに関する共同調査」

売却に至っていない理由は「特にない・面倒」







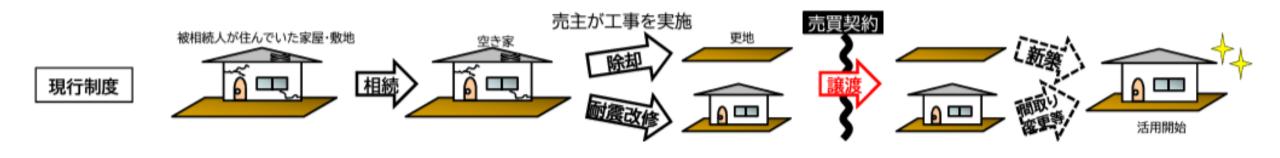
回答:350人(不動産売却検討者) 複数回答

出典:オープンハウス×LIFULL HOME'S 「家じまいに関する共同調査 |

空き家の発生を抑制するための特例措置(特定空き家制度)



- ✓ 利用が予定されていない「その他空き家(349万戸)」は、2030年には約470万戸まで増加見込み
- √ 空き家は相続を機に発生するものが過半以上のため、早期に譲渡(有効活用)するよう相続人を後押しする必要がある
- √ 2023年12月31日までとされていた特例措置は2027年12月31日まで延長
- ✓ 現行の耐震基準に適合する家(耐震性のない場合は耐震改修工事をしたもの)または取り壊し後の土地が対象だったが、 譲渡年の翌年2月15日までに当該建物の耐震改修工事または取り壊しを行った場合も適用対象に





出典:国土交通省「<u>空き家の発生を抑制するための特例措置</u>」

LIFULL HOME'S

2025年トレンド発表会

- ① デコ活
- 2 ローカル億ション
- 3 ずらし駅
- 4 住まいの防犯投資
- 5 家じまい元年

